



The Supporters Times

サポーターズタイムズ



衆議院議員 秋葉賢也 政策・活動レポート

復興への決意を新たに ～ 一日も早く『笑顔を取り戻す』ために ～



DPATの構想について記者会見する秋葉副大臣



東日本大震災から二年が経ちました。二万人を超える犠牲者の方々に改めて哀悼の意を表するとともに、被災者の方々に心からお見舞いを申し上げます。

発災以来、私は被災地選出の国会議員として、また、被災した者の一人として、被災地の実情を踏まえながら、復旧復興に取り組んで参りました。復興副大臣を拝命し、改めて復興を加速する必要があるとの思いを強くしております。

これまでに主要なライフラインや公共サービスについては応急的な復旧をほぼ完了しましたが、三十一万人を超える方々がいまだに仮住まいを余儀なくされるなど、本格的な復興はまだ途上であります。また、原子力災害からの復興も、帰還に向けた準備段階にあります。

復旧復興は、被災地の住民と自治体が主体です。解決すべき課題は地域ごとに異なります。解は現場にあります。復興の取り組みに当たっては、現場主義を徹底するとともに、縦割り行政を是正し、総合的な対策や対応を行っていく方針です。被災地の声に耳を傾け、現場のニーズにワンストップで対応し、具体的な課題を一つ一つ解決して参ります。

具体的には、まず第一に、復興庁の司令塔機能の強化と現場主義の徹底です。復興大臣がトップである福島復興再生総局と福島復興再生総括本部を設置し、いわゆる福島、東京二本社体制を構築するとともに、各復興局の増員を図りました。

第二に、復興予算に関するフレームの見直しです。復興施策や事業を滞りなく実施し、復興を加速化するため、五年間で十九兆円の復興予算枠を二十五兆円程度に見直し、財源に関する被災地の不安を払拭いたしました。

第三に、復興の加速策の具体化と推進などです。現時点で最も望まれていることは、住宅の早期再建と、福島では、ふるさと復活への道筋をつけることです。このため、住宅再建と復興まちづくりについて、タスクフォースを設置し、住宅と宅地の戸数の年度別目標である住まいの復興工程表と、これを実現及び加速化するための用地取得や人員、資材等の課題への対策を取りまとめました。この施策パッケージを推進するとともに、さまざまな課題に柔軟かつきめ細やかに対応して参ります。

一日も早く被災地に『笑顔を取り戻す』ために、これらの施策を徹底し、復興の加速化を着実に進めていくことを固くお誓い致します。

厚生労働副大臣
復興副大臣

秋葉賢也

秋葉厚生労働副大臣 Active Photography

(独) 国立精神・神経医療研究センターを視察

「国立精神・神経医療研究センター」とは、病院と研究所が一体となり、精神疾患、神経疾患及び発達障害等の克服のための研究開発を行い、その成果に基づいた高度先駆的医療の提供と全国的普及を行うことを目的に設置された独立行政法人です。



脱法ドラッグの研究内容について研究者より説明を受けました。

精神保健研究所



国立感染症研究センター



麻しん対策推進会議

「第8回麻しん対策推進会議」で、秋葉副大臣は、新たにメンバーになられたタレントの石田純一・東尾理子ご夫妻と共に、麻しん対策としての予防接種の重要性を呼びかけました。



3月16日 毎日新聞

おたふくなどの定期接種化検討へ
秋葉賢也副厚生労働相は15日の衆院厚生労働委員会で、世界保健機関WHOが推奨する水痘、おたふくかせ、B型肝炎、成人用肺炎球菌の4ワクチンを事実上無料となる定期接種に追加することを検討する考えを示した。自民党の豊田真由子氏の質問に答えた。4ワクチンの定期接種化には年間約1100億円の公費がかかることされており、財源の確保が課題となる。

第一回 健康寿命をのぼそう!アワード 表彰式



訪問介護看護の現場を視察



定期巡回・随時対応型訪問介護看護 ジャパンケア錦糸町
訪問看護ステーション みけ

ポリオ根絶に向けて

WHOを介した国際貢献



WHO事務局長補 秋葉副大臣を表敬訪問



国連児童基金(UNICEF)東京事務所、ユニセフ議員連盟及び世界の子どものためにポリオ根絶を目指す議員連盟共催の「ポリオ根絶のためのパートナーシップに関するハイレベル会合」が開催され、厚生労働省のポリオ根絶のための人的、技術的、財政的な国際貢献について、秋葉副大臣よりスピーチが行われました。

秋葉厚生労働副大臣の記者会見 ～第14回「イクメンの星」を発表～

3月14日、開かれた記者会見において秋葉副大臣は、第14回「イクメンの星」を発表致しました。



「イクメンプロジェクト」をご存知ですか?

これは、働く男性が、育児をより積極的に行うことや、育児休業を取得することができるよう、社会の気運を高めるために、厚生労働省が推進しているプロジェクトです。



復興庁 幹部会議

秋葉復興副大臣、復興にかける想いを語る!

復興推進会議・原子力災害対策本部合同会議



東日本大震災からの復興をテーマにした「復興創造フォーラム2013」が10日、仙台市太白区のゼビオアリーナ仙台であった。

日本青年会議所（JＣ）が主催し、約3000人が参加。秋葉賢也復興副大臣、大山健太郎アイリスオーヤマ社長、辰野勇モンベル会長が震災復興の課題と在り方をめぐり、パネル討論をした。

秋葉氏は「再生の発想ではなく新生の視点で臨むのが大事」と主張し、大山氏は「企業と産

復興と創造語り合う

業が生まれるような街づくりが必要だ」と指摘した。辰野氏は「被災者ニーズに対応するには一人が一人を救う里親的支援が求められる」と述べた。

■ 仙台でフォーラム ■

根本匠復興相と小畑宏介日本JＣ会頭による対談もあった。根本氏は「被災地は震災前から高齢化、過疎化の課題を抱えていた。復興を果たすことにより、東北から地域づくりの世界モデルを発信できる」と語った。



3月11日 河北新報 復興の課題を議論した復興創造フォーラム

復興・厚生労働の立場で早期復興へ

安倍内閣では復興副大臣という重要なポストに就かれました。平成24年度は復興元年と言われながら、思うように復興が進みませんでした。副大臣としてどのような政策を執られますか。

秋葉 政府は、生活再建に向けた見通しに資する住宅再建工程を明示し、高台移転に向けた用地取得を促進しています。税制措置や制度改正、そして自治体による住宅再建支援への財政措置など、復興加速策の具体化を進めているところです。

安倍内閣では厚生労働副大臣も兼務されています。

秋葉 一番大事なのは、被災した方々の暮らしと生業の再建です。厚生労働副大臣を兼務する立場を活かし、被災した方々に寄り添いながら復興を進めていきます。

復興を進めるうえで、各省庁

が横断的に連携することが必要とされています。

秋葉 「解は現場にある」という意識のもと、現場主義を徹底して地域の実情に即した施策を行うことが重要です。例えば、福島復興では現地の体制を一元化するために、福島復興再生総局を設置します。また、各復興局の常駐職員を増員し、ワンストップ機能をさらに強化する取り組みを進めています。

被災地で今、求められている公共事業とは、具体的にどのような事業だと思いますか。

秋葉 津波で家を失われた被災者の方々は、まず住宅を再建しないことには安心した暮らしを取り戻せません。同時に、将来を見据えた復興まちづくりを早急に進めていかなければなりません。その担い手として、地元建設業のみならず

まには、大きな期待がかけられています。

震災を機に、地域を守る地元建設業の役割がクローズアップされています。

秋葉 地元建設業のみならずは自ら被災した企業も多い中、震災直後からいち早く緊急輸送道路を開き、復旧にあたり支えています。まさに復興事業の中心的な担い手として、地域の再生を率先されています。

地域を守る地元建設業を、どのような存在だと思いますか。

秋葉 公共事業が縮小して厳しい環境におかれながらも、建設業界は地域社会を支える重要な役割を果たしています。災害時にはいち早く現場に駆けつけるなど、地域にとつては頼もしい存在だと思います。

ありがとうございます。

復興・厚生労働副大臣の立場で早期復興へ 再生担う建設業の役割重要



衆議院議員

秋葉 賢也

(あきば けんや) 昭和37年7月3日、宮城県丸森町出身。中央大学法学部を卒業し、東北大学大学院法学研究科博士課程前期修了。宮城県で初めて、松下政経塾に入塾。平成7年から宮城県議会議員を3期務め、平成17年に行われた衆議院補選で初当選した。第1次安倍内閣、福田内閣で総務大臣政務官を務める。現在、復興副大臣兼厚生労働副大臣。

3月9日 日刊建設新聞(宮城版)

【活動ブログ】 www.akiba21.net 【ツイッター】 @akibakenya 更新中! 秋葉賢也 検索

厚生労働副大臣・復興副大臣 秋葉 賢也 首相官邸 スカイツリー 見学ツアー



日時 平成25年 6月18日(火)～19日(水)
(18日「東京スカイツリー見学」、19日「首相官邸見学」「秋葉賢也 激励の集い」)

費用 20,000円(バス・宿泊・食事・見学料等)

詳細については、秋葉賢也仙台事務所まで TEL 022-375-4477

タウンミーティング(国政報告会)
秋葉厚生労働兼復興副大臣と意見を交換して
みなさんの声でより良い政治を創りませんか。

4月19日(金)宮城野区
19時 @田子市民センター

4月21日(日)若林区
17時 @若林区文化センター

4月25日(木)泉区
19時30分 @長命ヶ丘市民センター

第4・5・6回 社会保障制度改革国民会議 ～秋葉厚生労働副大臣が出席～

第4回



第6回



衆・参厚生労働委員会 ～秋葉副大臣が答弁～



東日本大震災犠牲者追悼式

仙台⇄東京



東日本大震災から2年を迎えた、3月11日、東日本大震災仙台市追悼式に出席致しました。秋葉副大臣は、震災の犠牲となった方々に謹んで哀悼の意を表し、献花をさせて戴きました。

秋葉厚生労働副大臣が記者会見 DPAT(災害派遣精神医療チーム)の構想について



「災害派遣精神医療チーム(DPAT:ディーパット)」は、厚生労働省を通じて、被災者や支援者へ精神保健活動を行う「こころのケアチーム」の名称です。東日本大震災での教訓を活かすために、秋葉厚生労働副大臣は、記者会見で、DPATの定義等を明らかにすると共に、今後、厚生労働省が「DPAT」を整備してゆく方針を明らかにしました。

現
地
現
場
主
義

秋葉厚生労働
復興副大臣の
活動報告写真



古屋圭司防災担当大臣に 申し入れ

「被災者生活支援制度」における津波による住宅流失等被害を受けた被災者への支援の限界と施策について、古屋大臣に申し入れを行いました。

副大臣会議(官邸)



リッパ・カナダ農務・農産食品大臣による 秋葉厚生労働副大臣の表敬



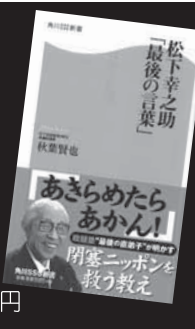
～ kenya's PLOFILE ～

- 昭和37年7月3日宮城県生まれ、50才。
- 角田高校を経て、中央大学法学部卒業、東北大学大学院法学研究科博士課程前期修了。
- (勸)松下政経塾卒業(第9期生 宮城県初)を経て、宮城県議会議員(二期)を務める。
- 総務大臣政務官などを経て、現在、衆議院議員(四期目)。厚生労働副大臣および、復興副大臣。
- 著書:『松下幸之助「最後の言葉」』(角川SSC新書)、『地方議会における議員立法』(文芸社)、『東北の夢創造』(ぎょうせい)。
- 趣味:スポーツ・音楽・映画。
- 特技:書道二段・空手初段。
- 尊敬する人:松下幸之助、マザーテレサ。

多くの皆様にご購読いただき心より感謝申し上げます。全国の主要書店やアマゾン等のインターネットでもお求めいただけます。

『松下幸之助 「最後の言葉」』

秋葉賢也著(角川SSC新書)定価760円



秋葉賢也事務所
www.akiba21.net
仙台市泉区上谷刈4-17-16
Tel 022(375)4477
Fax 022(375)0057
購読料 年額6,000円
編集 株式会社アクトジャパン

※ お願い 本紙「サポータータイムズ」を是非ご購入ください
⇒ お申込みは仙台事務所までお電話(☎022-375-4477)を!!

ハガキや切手を、是非、カンパ下さい!!